

たくましく元気なまちの創造へ

甲賀市総合計画をもとに、平成23年度に行った主な事業を重点テーマごとにご紹介します。(繰越事業含む)

人のきずなど元気を育むまちづくり

●甲賀市市民福祉活動センター整備事業 4,457万円

ボランティアセンター、甲賀市社会福祉協議会の甲南地域活動センター及び甲南地域居宅介護事業所の拠点として、平成24年5月にオープンしました。

●子宮頸がん等ワクチン接種事業 1億3,558万円

子宮頸がん予防(HPV)ワクチン、ヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種を無償で行いました。

子どもがいきいきと育つ環境づくり

●保育園・教育施設空調設備整備事業 8,873万円

猛暑・酷暑からの熱中症対策として、冷房機器が未整備の市立保育園や小中学校などにエアコン・扇風機などの空調設備を設置しました。

●大原・柏木・伴合小学校、甲賀中学校耐震補強・大規模改造事業 4,279万円

大原小学校の耐震補強工事を実施しました。また、柏木小学校と伴合小学校は耐震補強・大規模改造工事のた

信楽高原鉄道対策事業

7,518万円

信楽高原鉄道への支援として、運営・施設整備費を助成しました。



▲開業25周年を迎えた信楽高原鉄道

洪水ハザードマップ作成事業

428万円

水害発生時に備え、浸水が想定される区域や避難所などの情報を記載した洪水ハザードマップを作成しました。

甲南消防庁舎建設事業負担金

1億9,743万円

複雑多様化する消防救急ニーズに対応し、迅速・的確かつ効率的に対応するため、甲南消防署を移転し、新築整備しました。(事業主体：甲賀広域行政組合)

め、甲賀中学校は耐震補強工事のため、それぞれ設計を行いました。



▲耐震補強工事を行った大原小学校

貴生川認定こども園建設補助事業

4億426万円

人口増と低年齢児保育の要望による待機児童を解消するため、民間学校法人による幼稚園と保育園を一体化した認定こども園の建設を支援しました。

地域の資源を活かした元気な産業づくり

●緊急経済対策住宅リフォーム促進事業補助 5,031万円

市民が、市内施工業者を利用して自己居住住宅のリフォーム工事を行う場合に補助し、地域経済の活性化及び技術の伝承、雇用の安定を図りました。

鳥獣侵入防護柵設置事業

3億4,745万円

ニホンザル、イノシシ、ニホンジカ

みんなで支えあう地域コミュニティづくり

●新しい地域コミュニティ推進事業 2億1,531万円

自治振興会を側面的に支援するため、拠点となる地域市民センターを設置して市職員を配置するとともに、地域で決めて、地域で活用できる「自治振興交付金(総額約1億5,430万円)」をそれぞれの組織に交付しました。

環境配慮事業

●電気使用量削減・公用車適正利用に関する取り組み

防犯灯省エネルギー事業

359万円

防犯灯(115基)を低電力のLEDに変更しました。

●公共施設の照明灯を高効率照明器具に変更 259万円

小学校、図書館、公民館、文化ホール、照明灯や避難口誘導灯をLEDに変更しました。

●庁舎等電気使用量モニター管理 445万円

電気使用量を管理するためのモニター装置を市役所の各庁舎などに設置しました。

などの野生動物による農作物への被害が深刻化している中、防護柵の設置などを推進し、農作物被害の軽減と農業経営の安定化を図りました。

甲賀の野菜生産拡大推進事業

846万円

水田の高度利用により野菜の生産拡大を図るため、水田で出荷用野菜を生産する農家を支援しました。

また、生産拡大した甲賀市産野菜を「甲賀野菜」としてブランド化を進めるため、ロゴマークを作成しました。

甲賀の茶生産振興事業

731万円

高級茶の生産拡大を図るため、かぶせ茶などの生産農家を支援しました。

また、市内の小中学校で甲賀のお茶に親しんでもらい、地産地消の促進とリーフ茶の消費拡大に繋げるため、リーフ茶の提供とお茶の入れ方教室を開催しました。

高速道路等を活かした賑わいづくり

●新名神高速道路を活かした地域づくり事業 1,067万円

地域資源を活かした「新名神高速道路活用戦略」を策定しました。また、観光に携わる団体によって「こうかブランドマネジメント会議」を組織し、地域ブランドの開発などを行う「こうかの宝」創設・発信事業を実施しまし

庁舎電灯回路分割

23万円

窓側では照明がなくても基準の照度を確保できることから、回路分割を行い、効率的な照明の点灯に努めました。

低公害車導入

496万円

年式の古い車をハイブリッド車(3台)に更新しました。

その他の事業

●東日本大震災 被災地 被災者支援業務 2,279万円

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の被災地への職員派遣支援及び救済物資輸送、被災地からの被災者受け入れ支援などを行いました。

①被災地への職員派遣(平成23年5月8日～10月31日)
・派遣先 岩手県大船渡市 福島県田村郡、郡山市
②被災者受入支援
・スポーツの森ロッジ、市営住宅などへの受入、就学援助など
③救済物資受付、現地輸送
④義援金受付
・58,300,654円

(平成23年度末時点)
●原子力災害を想定した安全対策 807万円

日本赤十字社滋賀県支部を通じて送金しました。

観光客誘致推進事業

200万円

市内の観光事業者、農業者、商業者などを対象に、観光を切り口とした新産業・新サービスの創出を図るため、ビジネスマッチング(事業者間交流)を実施しました。

甲南IC・PA有効利用検討業務

399万円

「甲南パーキングを利用すると甲南インターチェンジから出られない」という構造上の不便さを解消するため、甲南パーキングエリアとインターチェンジ間の新たな流出路の線形の提案、協議を行いました。

安全・安心で世代や地域を越えた活発な交流のあるまちづくり

地域情報化基盤整備事業

7億8,453万円

市独自のきめ細かな情報サービスの提供や、災害が予想される際の初期情報伝達を一元化し市民の安全と暮らしを守るため、地域情報ネットワークの整備を行います。

23年度は、土山地域市民センター内にメイン機器の整備や水口・信楽地域の全域と土山地域の一部で光ファイバー幹線工事に着手しました。

特別会計で実施した事業

●水口医療介護センター施設整備事業 2億362万円

介護老人保健施設の整備を行い、平成24年4月1日に開業しました。



▲介護老人保健施設「ケアセンターささゆり」

公共下水道整備事業

6億9,522万円

山地区、希望ヶ丘地区などの整備工事をしました。

農業集落排水整備事業

2億927万円

平成26年度の竣工を目指し、朝宮地区の整備工事をしました。